

## 平成18年度連結決算概要

平成19年4月26日  
東海旅客鉄道株式会社

## 1. 経営成績の概要

- ・当期は、当初計画において「愛知万博」の反動から減収減益を見込んでいたが、安全・安定輸送の確保を最優先に、一層の競争力強化とサービス向上に努めたことに加え、良好な経済状況もあり、東海道新幹線が好調に推移するとともに、グループ事業も全般的に好調で、営業収益が増加。
- ・これに加えて営業外費用の減少もあり、営業収益、経常利益、当期純利益が過去最大となった。

## (1) 営業収益 1兆4,912億円（対前年+236億円、1.6%増）

- ・当社単体の運輸収入は、109億円（1.0%）増加して1兆1,470億円となった。
- 新幹線：昨年3月のダイヤ改正で東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」の利便性をさらに高めるとともに、エクスプレス予約のご利用区間を東海道・山陽新幹線全線に拡大するなど一層のご利用増に努めたことなどから、輸送量が増加。運輸収入は127億円（1.2%）増の1兆430億円となった。
- 在来線：名古屋・静岡両地区における通勤用電車の新製・投入とダイヤ改正の実施に加え、名古屋地区においてICカード乗車券「TOICA（トイカ）」を導入。これにより、普通列車のご利用が増加したが、前期の万博効果分はカバーし切れず、運輸収入は17億円（1.7%）減の1,039億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、大規模な売場改装を行ったジェイアール名古屋タカシマヤが売上を伸ばしたほか、耐震補強工事にあわせて行ったリニューアルが終了した主要駅の商業施設が全般にわたり好調であった。また、社宅跡地を開発した「NAGOYA CENTRAL GARDEN（ナゴヤ セントラルガーデン）」において分譲マンションの完成・引渡しを行った。

## (2) 営業費 1兆887億円（対前年+248億円、2.3%増）

- ・減価償却費などが減少したものの、耐震補強関連費用増による物件費の増加等があったことから、全体では費用増となった。

## (3) 営業利益 4,024億円（対前年 12億円、0.3%減）

## (4) 営業外損益 1,658億円（対前年 244億円改善）

- ・支払利息の減少や新幹線債務の早期返済に伴う費用減などから、営業外損益は大幅に改善した。

## (5) 経常利益 2,366億円（対前年+231億円、10.9%増）

## (6) 特別損益 36億円（対前年+32億円）

## (7) 当期純利益 1,371億円（対前年+147億円、12.0%増）

## 2. 長期債務等の概要

- ・長期債務については、昨年4月の自己株式取得（3,089億円）の資金負担から、当初計画では単体で増減ゼロを見込んでいたが、単体で400億円、連結で470億円を縮減した。期末残高は、単体3兆4,156億円、連結3兆4,985億円となった。
- ・純資産については、取得した自己株式がマイナス計上となるため、期末残高が1,843億円減の8,044億円（自己資本比率15.3%）となった。

### 3. キャッシュ・フローの状況

#### (1) 営業活動によるキャッシュ・イン 4,270億円 (対前年 508億円)

- ・東海道新幹線のご利用増などに伴い営業収益は増加したものの、曜日配列の関係から期末の入金が翌年度初となったことに加え、法人税等の支払額が増加したことなどから、営業活動によるネットの資金収入は減少。

#### (2) 投資活動によるキャッシュ・アウト 2,183億円 (対前年 +987億円)

- ・固定資産の取得にかかる支出が増加したことなどから、投資活動によるネットの資金支出は増加。

#### (3) 財務活動によるキャッシュ・アウト 3,454億円 (対前年 +814億円)

#### (4) 現金及び現金同等物期末残高 367億円 (対前年 1,359億円)

- ・自己株式の取得による資金支出があったことなどから、財務活動によるネットの資金支出が増加するとともに、期末の現金及び現金同等物が減少。

### 4. 平成19年度の業績予想

#### (1) 営業収益 1兆4,940億円 (対前年 +27億円、0.2%増)

- ・当社の運輸収入については、平成18年度実績に閏年分をプラスして見込む。

#### (2) 経常利益 2,280億円 (対前年 86億円、3.7%減)

- ・支払利息の減少などにより営業外損益が改善するものの、平成19年度税制改正等に伴う減価償却費増などにより、減益を見込む。

#### (3) 当期純利益 1,330億円 (対前年 41億円、3.0%減)

#### (4) 長期債務縮減見込額 1,070億円 (単体 1,000億円)

### 5. 平成18年度期末配当及び平成19年度配当予想 (当社)

- ・平成18年度の期末配当については、各種施策の展開に加えて好調な経済状況もあり、下半期以降においても輸送量が好調に推移したという状況を踏まえ、既公表の1株当たり3,500円を500円増額し、4,000円に変更。
- ・平成19年度の配当予想についても、現在のような状況が継続している限りにおいて、様々な経営課題に対処しつつも安定的な経営を維持していけるとの判断のもと、中間・期末ともに今期末配当と同様1株当たり4,000円を計画。

## 輸送人キ口および運輸収入の比較

(単位:百万人キ口、億円)

			平成 17年度	平成 18年度	増 減	前期比(%)	(参考)前期比(%)		
							4~ 9月	10~ 3月	
輸 送 人 キ 口	新 幹 線	定 期	1,199	1,254	55	104.6	104.4	104.7	
		定期外	42,578	43,233	656	101.5	99.4	103.8	
		合 計	43,777	44,487	710	101.6	99.5	103.8	
	在 来 線	定 期	5,211	5,279	68	101.3	100.9	101.7	
		定期外	3,893	3,767	126	96.8	91.7	102.4	
		合 計	9,103	9,046	58	99.4	97.0	102.0	
	合 計	定 期	6,410	6,533	123	101.9	101.6	102.3	
		定期外	46,470	47,000	530	101.1	98.7	103.7	
		合 計	52,880	53,533	653	101.2	99.1	103.5	
	運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	144	150	6	104.3	104.1	104.6
			定期外	10,158	10,279	121	101.2	99.1	103.3
			合 計	10,302	10,430	127	101.2	99.2	103.4
在 来 線		定 期	327	331	4	101.3	100.8	101.8	
		定期外	729	707	21	97.0	93.2	101.2	
		合 計	1,056	1,039	17	98.3	95.5	101.4	
合 計		定 期	472	482	10	102.2	101.8	102.6	
		定期外	10,887	10,986	99	100.9	98.7	103.2	
		合 計	11,359	11,469	109	101.0	98.8	103.2	
小荷物運賃 料金		1	0	0	56.4	58.6	52.9		
合 計		11,361	11,470	109	101.0	98.8	103.2		

(注)1.当社単体に係る輸送人キ口および運輸収入を記載

2.輸送人キ口は単位未満端数四捨五入

3.運輸収入は単位未満端数切捨

## 比較損益計算書【連結】

(単位:億円)

科 目	平成17年度	平成18年度	増 減	前期比 (%)	主な増減
営 業 収 益	[1.223] 14,676	[1.230] 14,912	236	101.6	
運 輸 業	11,879	12,003	124	101.0	当社運輸収入の増
流 通 業	1,831	1,871	40	102.2	高島屋売上増
不 動 産 業	380	418	38	110.1	分譲マンション完成 引渡し
そ の 他 の 事 業	585	618	32	105.6	
営 業 費	10,638	10,887	248	102.3	当社物件費の増
営 業 利 益	[1.052] 4,037	[1.057] 4,024	12	99.7	
営 業 外 損 益	1,902	1,658	244	87.1	
営 業 外 収 益 用	67	99	32	147.9	
営 業 外 費 用	1,970	1,758	212	89.2	支払利息の減等
経 常 利 益	[1.093] 2,134	[1.092] 2,366	231	110.9	
特 別 損 益	69	36	32	52.4	
特 別 利 益	41	191	150	461.1	
特 別 損 失	110	227	117	206.0	
税金等調整前当期純利益	2,065	2,330	264	112.8	
法人税、住民税及び事業税	978	978	0	100.0	
法人税等調整額	153	33	119	21.8	
少数株主利益	16	14	2	87.1	
当 期 純 利 益	[1.055] 1,224	[1.054] 1,371	147	112.0	

(注)1.単位未満端数切捨、[ ]内は連単倍率

2.営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

## セグメント別の営業損益

(単位:億円)

科 目	セグメント	平成17年度	平成18年度	増 減	前期比 (%)
営 業 収 益	運 輸 業	11,998	12,120	122	101.0
	流 通 業	1,907	1,958	51	102.7
	不 動 産 業	582	625	43	107.5
	その他の事業	1,450	1,594	144	109.9
	消去又は全社	1,261	1,387	125	110.0
	計	14,676	14,912	236	101.6
営 業 利 益	運 輸 業	3,799	3,775	24	99.4
	流 通 業	75	75	0	100.7
	不 動 産 業	124	137	12	110.2
	その他の事業	39	42	2	106.2
	消去又は全社	1	5	3	347.5
	計	4,037	4,024	12	99.7

(注)1.単位未満端数切捨

2.消去又は全社」欄は、セグメント間取引の相殺消去等

## 比較貸借対照表【連結】

(単位:億円)

科 目	平成17年度 期 末	平成18年度 期 末	増 減	主な増減
流 動 資 産	2,767	1,735	1,032	現預金・現先等の減
固 定 資 産	50,330	49,910	420	
有 形 固 定 資 産	47,659	46,960	699	減価償却による減
無 形 固 定 資 産	143	117	25	
投 資 そ の 他 の 資 産	2,527	2,832	304	
資 産 合 計	53,098	51,645	1,452	
流 動 負 債	6,669	6,583	86	
固 定 負 債	36,540	37,018	477	
負 債 合 計	43,210	43,601	391	
[ うち長期債務 ]	35,455	34,985	470	当社 400 子会社 69
純 資 産 合 計	9,887	8,044	1,843	自己株式の取得
負 債 ・ 純 資 産 合 計	53,098	51,645	1,452	

(注)単位未満端数切捨

## 比較キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:億円)

科 目	平成17年度	平成18年度	増 減	主な増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,779	4,270	508	
税金等調整前当期純利益	2,065	2,330	264	当社運輸収入の増等
減価償却費	2,348	2,152	196	
その他	364	212	576	法人税等の支払額の増
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,196	2,183	987	
有形・無形固定資産の取得による支出	1,280	2,035	754	
その他	84	148	232	
[フリー・キャッシュ・フロー(営業+投資)]	[ 3,582]	[ 2,086]	[ 1,495]	
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,640	3,454	814	
短期社債の純増加額	-	449	449	
長期借入・社債発行による収入	1,700	3,218	1,518	
長期債務の返済による支出	3,880	3,690	189	
自己株式の取得による支出	-	3,089	3,089	
その他	460	342	117	
現金及び現金同等物の増加額(は減少額)	942	1,367	2,310	
現金及び現金同等物の期首残高	784	1,727	942	
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	8	8	
現金及び現金同等物の期末残高	1,727	367	1,359	

(注)単位未満端数切捨

## 次期の業績予想【連結】

(単位:億円)

科 目	平成18年度 (実績)	平成19年度 (予想)	増 減	前期比 (%)
営 業 収 益	[1.230] 14,912	[1.229] 14,940	27	100.2
営 業 費	10,887	11,180	292	102.7
営 業 利 益	[1.057] 4,024	[1.053] 3,760	264	93.4
経 常 利 益	[1.092] 2,366	[1.081] 2,280	86	96.3
当 期 純 利 益	[1.054] 1,371	[1.047] 1,330	41	97.0

(注)単位未満端数切捨、[ ]内は連単倍率

## セグメント別の業績予想

(単位:億円)

科 目	平成18年度 (実績)	平成19年度 (予想)	増 減	前期比 (%)	
営 業 収 益	運 輸 業	12,120	12,155	34	100.3
	流 通 業	1,958	1,952	6	99.7
	不 動 産 業	625	639	13	102.1
	その他の事業	1,594	1,495	99	93.7
	消去又は全社	1,387	1,301	86	93.8
	計	14,912	14,940	27	100.2
営 業 利 益	運 輸 業	3,775	3,537	238	93.7
	流 通 業	75	68	7	89.9
	不 動 産 業	137	122	15	88.8
	その他の事業	42	31	11	73.8
	消去又は全社	5	2	7	-
	計	4,024	3,760	264	93.4

(注)1.単位未満端数切捨

2. 消去又は全社 欄は、セグメント間取引の相殺消去等

## 長期債務の縮減見込額【連結・単体】

(単位:億円)

科 目	平成18年度		平成19年度	
	期末残高(実績)	縮減実績額	期末残高(見込)	縮減見込額
長期債務残高(連結)	34,985	470	33,915	1,070
長期債務残高(単体)	34,156	400	33,156	1,000

(注)単位未満端数切捨

## 比較損益計算書【単体】

(単位:億円)

科 目	平成17年度	平成18年度	増 減	前期比 (%)	主な増減
営 業 収 益	11,996	12,123	126	101.1	
運 輸 収 入	11,361	11,470	109	101.0	新幹線の増
そ の 他 の 収 入	634	652	17	102.8	
営 業 費	8,158	8,314	156	101.9	
人 件 費	1,702	1,752	49	102.9	
物 件 費	3,908	4,228	319	108.2	修繕費の増
租 税 公 課	334	321	12	96.2	
減 価 償 却 費	2,212	2,012	200	90.9	償却進捗に伴う減
営 業 利 益	3,837	3,808	29	99.2	
営 業 外 損 益	1,883	1,640	242	87.1	
営 業 外 収 益	61	93	31	151.9	
営 業 外 費 用	1,945	1,734	210	89.2	支払利息の減等
経 常 利 益	1,953	2,167	213	110.9	
特 別 損 益	31	12	43	-	
特 別 利 益	39	191	151	482.3	
特 別 損 失	70	178	107	252.1	
税 引 前 当 期 純 利 益	1,922	2,179	257	113.4	
法人税、住民税及び事業税	918	908	10	98.8	
法 人 税 等 調 整 額	157	29	127	18.9	
当 期 純 利 益	1,160	1,301	140	112.1	

(注)単位未満端数切捨

## 長期債務の推移【単体】

(単位:億円)

	平成3年度	平成17年度	平成18年度
長 期 債 務 残 高 ( 期 末 )	54,562	34,557	34,156
年 間 縮 減 額	-	2,100	400
縮 減 累 計 額	-	20,005	20,405

(注)単位未満端数切捨

## 次期の業績予想【単体】

(単位:億円)

科 目	平成18年度 (実績)	平成19年度 (予想)	増 減	前期比 (%)
営 業 収 益	12,123	12,160	36	100.3
運 輸 収 入	11,470	11,490	19	100.2
そ の 他 の 収 入	652	670	17	102.6
営 業 費	8,314	8,590	275	103.3
人 件 費	1,752	1,740	12	99.3
物 件 費	4,228	4,320	91	102.2
租 税 公 課	321	320	1	99.5
減 価 償 却 費	2,012	2,210	197	109.8
営 業 利 益	3,808	3,570	238	93.7
営 業 外 損 益	1,640	1,460	180	89.0
営 業 外 収 益	93	60	33	64.2
営 業 外 費 用	1,734	1,520	214	87.6
経 常 利 益	2,167	2,110	57	97.4
特 別 損 益	12	-	12	-
税 引 前 当 期 純 利 益	2,179	2,110	69	96.8
法 人 税 等	878	840	38	95.6
当 期 純 利 益	1,301	1,270	31	97.6

(注) 単位未満端数切捨

## 設備投資の計画額【単体】

(単位:億円)

	平成18年度 (実績)	平成19年度 (計画)	増 減	前期比 (%)
設 備 投 資 額	2,098	2,880	781	137.3

(注) 単位未満端数切捨



## 期末決算参考数値【連結】

	単位	平成17年度	平成18年度	増減
金融収支	億円	1,605	1,495	110
支払利息	億円	1,610	1,503	106
1株当たり当期純利益 (EPS)	円	54,560.69	69,407.69	14,847.00
自己資本当期純利益率	%	13.4	15.6	2.2
自己資本比率	%	18.3	15.3	3.0
設備投資額	億円	1,493	2,370	876
長期債務残高(期末)	億円	35,455	34,985	470
平均金利(期末)	%	4.26	4.04	0.22
従業員数(期末)	人	23,445	24,063	618

(注) 期中平均株式数 17年度 2,237,982株 18年度 1,975,924株  
従業員数は、就業人員を示す。

## 期末決算参考数値【単体】

	単位	平成17年度	平成18年度	増減
金融収支	億円	1,579	1,471	108
支払利息	億円	1,586	1,482	104
1株当たり当期純利益 (EPS)	円	51,673.80	65,794.51	14,120.71
自己資本当期純利益率	%	13.0	15.2	2.2
自己資本比率	%	18.5	15.2	3.3
設備投資額	億円	1,283	2,098	814
長期債務残高(期末)	億円	34,557	34,156	400
平均金利(期末)	%	4.30	4.08	0.22
従業員数(期末)	人	15,422	15,818	396
退職者数	人	1,055	1,317	262

(注) 期中平均株式数 17年度 2,240,000株 18年度 1,978,000株  
従業員数は、就業人員を示す。

< 参考 >

## 平成18年度決算について

### 【連結決算】

営業収益	1兆4,912億円(前期比	+236億円、	1.6%増)
経常利益	2,366億円(前期比	+231億円、	10.9%増)
当期純利益	1,371億円(前期比	+147億円、	12.0%増)

### 【単体決算】

営業収益	1兆2,123億円(前期比	+126億円、	1.1%増)
運輸収入	1兆1,470億円(前期比	+109億円、	1.0%増)
経常利益	2,167億円(前期比	+213億円、	10.9%増)
当期純利益	1,301億円(前期比	+140億円、	12.1%増)

	連 結	単 体
営業収益	・過去最大 ・4期連続の増収	・過去最大 ・4期連続の増収
運輸収入	-	・過去最大 ・4期連続の増収
経常利益	・過去最大 ・7期連続の増益 ・4期連続の増収増益	・過去最大 ・6期連続の増益 ・4期連続の増収増益
当期純利益	・過去最大 ・5期連続の増益 ・4期連続の増収増益	・過去最大 ・5期連続の増益 ・4期連続の増収増益

(注) 連結ベースでは連結決算を開始した平成元年度、単体ベースでは会社発足の昭和62年度からの結果を表記。